

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第2回川西市行財政改革審議会	
事務局(担当課)		総合政策部企画財政課	
開催日時		令和3年9月22日(水) 18時00分から19時00分	
開催場所		Web会議システム(傍聴場所:市役所4階 庁議室)	
出席者	委員	上村 敏之 委員、櫻野 孝人 委員、足立 泰美委員、福田 直樹委員、東 朋子 委員、田辺 彰子 委員	
	その他		
	事務局	石田総合政策部長、船木総合政策部副部長、富本企画財政課(行財政改革担当)課長、奥村主任、多田主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 3人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		1.開会 2.議事 (1)事業の再検証について (2)その他 3.閉会	
会議結果		別紙審議経過のとおり	

審議経過

事務局	<p>お時間がまいりましたので、令和3年度の「第2回川西市行財政改革審議会」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会を務めます、川西市総合政策部企画財政課の埴田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の事務局の出席は、総合政策部長 石田、総合政策部副部長 船木、企画財政課（行財政改革担当）課長 富本、企画財政課主任 奥村となります。</p> <p>また、本日の審議会の傍聴者数は、現時点で3人です。</p> <p>当審議会は「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」第10条第3項、「川西市行財政改革審議会 会議公開制度運用要綱」、</p> <p>「川西市行財政改革審議会の会議公開に係る傍聴要領」に基づき、公開し、傍聴可能となります。</p> <p>会議録については、昨年同様に各委員のお名前を伏せた形で発言要旨を事務局でまとめ、その内容について、会長にご確認、ご承認いただき、この会議録も公開対象となります。</p> <p>また今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、「川西市行財政改革審議会のWeb会議運用に係る要領」に基づき、Web会議システムを活用して開催します。至らない点もあるかと思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>開催に先立って、Web会議システムの方法による参加及び通信の確認を行います。</p> <p>本日は、全委員がWeb会議システムによる出席となります。会議開始前に事務局が出席委員に対して、「映像及び音声により委員本人であること」、「会長及び委員相互間での映像及び音声の即時の相送受信が適正に行われていること」の2点について、確認がとれております。</p> <p>従いまして、「川西市行財政改革審議会規則 第6条第2項」の規定により、審議会が開催できることを、事務局から会長へご報告します。</p>
会長	ただいまの報告について、承認します。
事務局	ありがとうございます。

	<p>続きまして、本審議会の Web 会議の進行方法は、「Web 会議の進行方法について」に沿って実施します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、議事を進めます。</p> <p>本日の議題は、「事業の再検証」についてとなります。活発なご議論をいただけたらと存じますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは上村会長、議事の進行をよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>みなさん、こんばんは。</p> <p>早速、議事に移らせていただきます。</p> <p>本日は、「事業の再検証」について議論を進めていきたいと考えております。それでは、事務局より「事業の再検証」について、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>行財政改革担当課長の富本でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは私のほうから、本日の審議会でご審議いただきたい内容をご説明します。</p> <p>まず、各事業の答申（案）として、資料 1 検証結果シートについて、ご審議いただきます。</p> <p>資料 1 検証結果シートの審議が終わりましたら、続いて、資料 2 答申（案）鑑文の審議に移っていただきたいと思います。</p> <p>それでは、資料 1 検証結果シートの審議について、ご説明いたします。</p> <p>資料 1 をご覧ください。</p> <p>本日は、担当課と質疑応答及びディスカッションを実施した令和 3 年度対象事業 95 事業について、ご審議いただきたいと思います。</p> <p>質疑応答及びディスカッションしていただいた後に、それぞれの事業の方向性、方向性についてのコメント、主な議論のポイントの取りまとめをワーキンググループの中で、数日間に分けて行っていただきました。</p> <p>その内容を資料 1 でまとめています。</p> <p>また、関連する事業をまとめてディスカッションしたものについては、検証結果シートについても、1 枚にまとめて作成しております。</p> <p>本日の審議会では、この資料 1 について、ご審議をお願いしたいと思います。</p>

会長	<p>本日もどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>時間配分の目安については、最初の 90 分で「検証結果シートの審議」、残りの 30 分で「答申鑑(案)の審議」を行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、「資料 1 検証結果シートの審議」に移ります。</p> <p>今から行う「資料 1 検証結果シート」の確認における目的は、令和 3 年度の対象事業 95 事業に対する本審議会における検証結果の方向性と取りまとめのコメントを確定させることです。</p> <p>これまで、委員による検討の機会を複数回設けました。</p> <p>検討の 1 回目は、6 月 4 日～6 月 25 日までの期間で、「質疑応答シート」を使って、担当課と「質疑応答」を 2 往復行いました。</p> <p>2 回目は、6 月 29 日～7 月 19 日のうち、12 日間にわたってディスカッションを 2 班体制で行いました。事業担当課と 1 事業当たり 40 分間をかけてディスカッションし、担当課と委員との共同の作業としてその場でコメント原案を作成しました。</p> <p>3 回目は、8 月 23 日、26 日、27 日、9 月 2 日の 4 日間でワーキンググループを開催し、合計 8 時間をかけまして 95 事業の方向性と、とりまとめのコメント、ディスカッション時の主な議論のポイントについて議論をして必要な修正をいたしました。</p> <p>4 回目は、このワーキンググループで修正されたコメントについて、再度各委員による確認を行い、修正があればメールでご連絡いただきました。</p> <p>この 4 回の検討による修正を経て、本日が検討機会の 5 回目となります。なお 2 班体制によるディスカッション以降は、全委員が全ての議論に参加し、コメントの修正の確認作業を、全ての事業において行っています。</p> <p>以上の手続きを経まして本日の審議会を迎えました。</p> <p>本日の議論については、議論する事業をおおむね 15 事業ずつ 7 グループに分けてまとめて議論を実施したいと思います。</p> <p>このような進め方にしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

委員	(異議なし)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、各事業の方向性、方向性についてのコメント、主な議論のポイントについて、議論を進めてまいります。</p> <p>まずは、資料1の1ページ目「情報提供推進事業」から13ページ目「行政センター運営事業」までで、ご意見を伺いたいと思います。ご意見はございませんでしょうか。</p> <p>< 1～7グループごとに確認を行い、全事業を確認した。 ></p> <p>委員からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体をとおして、数値の表記について、アラビア数字と漢数字が混在しているものがあつたため、全体的に事務局で確認するよう指摘
会長	<p>以上で、全事業の確認を終了します。</p> <p>指摘部分については、会長である私と事務局で確認して、修正いたします。皆さまには、後日ご確認いただきたいと思います。</p>
委員	(異議なし)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にございますか。なければ次に移ります。</p> <p>それでは続きまして、「資料2 答申鑑(案)」の議論に移りたいと思います。</p> <p>今年度の審議会からの答申は、先ほど議論しました、令和3年度の事業の再検証で実施した95事業に対する答申を行います。</p> <p>加えて、令和3年度は、財政健全化集中期間の最終年度でありますので、令和元年度から令和3年度までの3年間をとおした行財政改革の取組みについての総括についても、答申の鑑文としてまとめようと考えていますが、いかがでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、資料2について、ご意見を伺いたいと思います。ご意見はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>1点よろしいですか。</p> <p>資料2については文章も問題もありませんしこれでいいと思いますが、2枚</p>

	<p>目の1ですが、ディスカッションを行う中で、全体をとおして、課題やターゲットの設定ができていない事業が多くあったと思います。</p> <p>それと、市民への情報発信が出来ていないという課題も多くあったと思いますので、そのことについて付け加えるべきかどうかと、それも含めて、職員に対する教育の話かもしれませんが、マーケティング力というのをしっかり身につけていかないと、いくら実施しても従来よりも成果がなかなかでないということになるので、そういう観点で1に加わるといいなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今言われたことは重要かと思いますが、1の「常に検証を行うこと」の後に付け加えるのはどうかと思っていますが、付け加えるとしたら、どのような文言が考えられますか。</p>
<p>委員</p>	<p>「常に検証を行うこと」の後につけるとすると、職員側の問題に持っていくとすると、それができるマーケティング力を市職員が身につけること、もしくは身につけるために市職員に対する教育をしっかりとすることと、どちらにするかだと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>委員は、職員の能力向上が重要だということですか。</p> <p>また、話の前半ではターゲットの設定の話がありましたよね。</p>
<p>委員</p>	<p>それが出来てないという問題を指摘する文章にするのか、または、そのような意見がたくさん出てきたので、できるようにするために職員個人や組織のスキルを向上させるとするか。</p> <p>議論の中では、例えば、若い人が参加してくれないという課題がありました。そのときに、課題設定として「若い人に参加してもらうにはどうするか」とするのか、若しくはこの事業のターゲットは若い人ではないというとらえ方をするのか。また、若い人に参加してもらうのであれば、現状の事業から若者をターゲットにした事業に変えないといけない、こんな課題が多かったと思います。</p> <p>その一つひとつに対して我々が議論していくというよりは、そういう考え方とか力を職員に身につけてもらうという方が根本的な向上に繋がるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。1行目の「各事業の取組が」を「取組の」にさせていただいて、「課題設定とターゲットを明確化し」にすると、委員の発言の趣旨が含まれると思います。</p> <p>あとは、「常に検証を行うこと。それができるマーケティング力を職員が身につけること。」を追加することでどうでしょうか。</p>

委員	はい。結構です。
会長	はい、ありがとうございます。 それでは委員お願いします。
委員	1、2、3は、それぞれ主語は誰で、何を目的としている文章でしょうか。1は職員の能力を育てていきたいと思います。2は外郭団体の収益構造、要は収支の帳尻を合わせて経営していきましょう、3は、市と外郭団体の連携を保ちましょう、そういった趣旨で読み取っていいのでしょうか。そうすると主語が明確ではないと思います。この1、2、3は誰が主語で、それぞれはどのような関係でしょうか。
会長	市長に向けての答申なので、主語は市長、または、市だと思います。
委員	であるなら、2と3は、何が違うのでしょうか。
事務局	2と3ですが、2は市と外郭団体との関係ということになりますので、市の適切な関与のあり方というところについて、ご指摘いただいていたかと思います。 3についても、各団体の自主性を尊重して、市の支援の範囲を明確にしていく必要があるのではないかとのご指摘を、これまで多くいただいております。
委員	それでいきますと、2も3も外部団体の自主性が書いてありますが、何が違うのかを確認したい。両方ともそれぞれ団体の自主的かつ自立的な運営を図る形で、市は関わりたいと。この2と3は、意味していることも重複しているだけに、分ける必要があるならば、その部分を明確にする言葉を入れたほうがいいかと思います。 で、私はこの文章を見たときに、2については外郭団体の収益構造を見直す形で市は関与したいと。3については、協働して事業を推進していくということで多少なりとも、2と違って感じるように感じましたので、自立性を促しながら市は連携をとりたいと。 2と3両方とも自主的自立的に促す形で関わりたいというふうにご説明なさるならば、2と3を分ける必要はないのではないかと感じました。
事務局	2については外郭団体ということで、経営という概念が出てくるような団体であるということが、収益構造の見直し、それから自立的な経営の促進につながってくると考えて、3の団体とは違ってくると考えています。 3の「団体事務局事務」を含めまして、この団体は、任意の市民の皆さんが

	<p>組織をされて活動している団体という意味ですので、2の外郭団体とは異なると考えています。収益構造や経営という観点ではなく、どちらかという市と協働する中で、市の支援の範囲と市と団体の役割分担を整理していく必要があるというふうに、これまでのディスカッションでもそのようなご議論をいただいておりますので、2と3について市が関わりを持つというのは同じですが、関わりを持つ相手が外郭団体か、市民の方々に組織されている団体なのかというところで分けて文案に記載しております。</p>
<p>委員</p>	<p>今話されたような内容ならば、いわゆる収益を求めている外郭団体は全て2になり、収益構造を抜本的に見直し、それに対して自主的自立的な経営を促進しますと。3につきまして市民団体が主であるならば、これは収益を求めないものでありますので、自主性自立性を重んじながら市は連携をとっていくと、分けて考えたほうがいいのかと思います。</p> <p>団体という言葉が重複するだけに、外郭団体と市民団体という言葉のそれぞれを正確に定義して、収益の求められる外郭団体とそうではない団体というのがわかるように整理したほうがよいかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>委員。</p>
<p>委員</p>	<p>市のご説明は理解できましたが、3の主語が、市民団体とかそういうことではなくて事務局事務と書かれていて、団体の事務局を市の職員が担わなければいけない団体のあり方というのはどうなのかという議論から出てきたものと思いますが、今のご説明であれば、2は外郭団体に対するもの、2は市民団体に対するものであるなら、この「事務局事務について」という言葉に、私は違和感があります。</p>
<p>会長</p>	<p>はい。いかがでしょうか。</p> <p>ここは、市が、市民団体の事務を丸抱えで実施してしまっているのはどうなのかという議論があって、この問題について3は指摘していると思いますがいかがですか。</p> <p>団体の自立性を尊重しということですから、団体の事務について市が丸抱えをするのはあまりよくないという内容で読み取れないですか。</p>
<p>委員</p>	<p>その部分の議論を知っている人が読めばそうだと思いますが、「団体事務局事務について」から始まって、「協働して事業を推進していく必要がある」で結ばれると、事務局事務を市と団体が協働して事業を推進していく必要があるという文言になるとと思います。</p> <p>ですので、この文章だけを読んだ方には、意味が伝わりにくいのではないのでしょうか。</p>

	<p>「自主性や自立性を尊重し」ということで、団体の事務局を団体の方々が自ら行うべき、とは捉えられないのではないかと私は思いました。</p>
会長	<p>明確に書いたほうがいいということですね。</p>
委員	<p>そうですね。それこそ市の関わり度合いを考えて、議論の中には、団体の事務局の事務を市がやらないと存続出来ない団体を、そのあとどうするのかという議論もあったので、適切な関係で協働していくということを言い切ってしまうっていいのかとも思います。</p>
会長	<p>だから、丸抱えというのがあまりよくないですが、かといって完全な自立もなかなか難しいということがあるので、恐らく協働してという言葉が入っているのかなとは思いますが。あと「団体事務局事務」という言葉もわかりにくい。「団体事務局」のあとに「の」を入れたほうがいいと思います。</p>
委員	<p>皆さんがおっしゃるように、我々も議論していたからわかりますが、初めての方がこの文章だけ読むと、やっぱりよくわからない気がします。</p> <p>議論の内容を思い出すと、大きな論点になっていたのは、どちらかということこの団体事務局事務が、あまり機能していなかったり、求められたパフォーマンスを出せない場合にどうするのかという議論が多かったような気がするので、この団体事務局の役割とか目標などをしっかり認識してもらい、場合によっては市が支援するなど、関与する必要があるというニュアンスの話が多かったような気がします。そうではありませんでしたか。</p> <p>それとも、市が関与せずに、自主独立してくださいというような内容でしたでしょうか。</p>
会長	<p>色々な団体があったので、様々だと思います。ですので、市が事務に関わりすぎると、まさにその団体の自主性や自立性が損なわれているのではないかと話もあったと思うので、ここの1行目はまさにそういうことが、書かれているのかなと読めるのですが、ただそれは、我々が議論をしたからそう読めるのであって、第三者の方が正確に理解できるのかというのは確かにあると思います。</p>
委員	<p>「団体事務局の事務については、団体の自主性や自立性を尊重すること」で一度文章を切って、そのあと、「また、適切な関係において、協働して事業を推進していく必要がある」までで2つに分けてしまうと、先ほど委員がおっしゃっていた団体の自主性や自立性は、できるところは実施して、もしも出来なかったら、適切な関係において協働して事業推進していく必要がある、という捉えられ方になるのかと思いますが、ここの表現はまだ修正が必要だと思います。</p>

委員	<p>続けて、2ですが、「時代に即した外郭団体等の役割を再整理し、市の適切な関与のあり方も含め、収益構造を抜本的に見直し」の部分について、主語が市であるなら、「市が外郭団体の収益構造を抜本的に見直し」ことになってしまうので、ここも変える必要があると思います。</p> <p>収益事業の抜本的な見直しは、外郭団体自身が行うことであるので、「市の適切な関与のあり方も含め」の後に、「外郭団体等の」と続けて、「市の適切な関与のあり方も含め、外郭団体の収益構造の抜本的な見直しや、自主的かつ自立的な経営の促進を図ること」にしてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>委員のご意見であれば、この2は、2行目と3行目を逆にして、「外郭団体が自主かつ自立的な経営の福祉を図るために、収益構造の抜本的な見直しを行う。」というのはどうでしょうか。</p>
委員	<p>その文章がよいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>2について、前半は市が主語、後半は外郭団体が主語ですので、2つの文に分けるのはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>「市の適切な関わり方も含め」の部分ですが、ここを市が考えるのか、それとも外郭団体が市の関与を考えるのか、どちらが考えるかで違って来るかと思っています。</p>
会長	<p>では、この「市の適切な関与のあり方も含め」を「時代に即した～」の前に持ってきて、「限られた財源の中で効果的な事業を行うために、市の適切な管理のあり方も含め、時代に即した外郭団体等の役割を再整理すること」でいかがでしょうか。そのあと、外郭団体等が主語になった文章が続くということでもいいですか。</p> <p>2については、前半は市に対するお願いで、後半は外郭団体等に対するお願いという2段構えの文章でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>3に戻ります。「団体事務局事務について、団体の自主性や自立性を尊重すること。また、適切な関係において～」の「適切な関係において」は何の適切な関係がわからないので、「団体との」と書けば、市と団体ということが分かるの</p>

	<p>で、「団体との適切な関係において協働して事業を進める必要がある。」がよいと思います。</p>
委員	<p>「団体の自主性や自立性を尊重すること。」で文章を終えてしまうと、あまりにもその部分が一番言いたいことのようなニュアンスになってしまいましたか。</p> <p>「自立性を尊重する前提で」として、それから、「団体との適切な関係において、協働して事業推進する必要がある」と続けるのはどうでしょうか。</p>
会長	<p>ここだけ「必要がある」で終わると違和感がありますので「すること」で終わりませんか。「すること」で結びましょう。</p> <p>それから、「団体事務局事務」という言葉は、定義された言葉ですか。間に「の」を入れてもいいでしょうか。</p>
事務局	<p>特に定められている言葉ではないです。</p>
会長	<p>そうですか。それでは、「団体事務局の事務」としたいと思います。</p>
委員	<p>ここの前半部分は、自主性や自立性を尊重するというだけでなく、それを求めるというニュアンスを出したいので、委員がおっしゃったように「前提で」というのはいいと思いますが、先ほど委員がおっしゃっていたように、2と3の団体はどう違うのかというのが分かるように、明確にしたほうがいいと思います。</p>
委員	<p>3の団体について、事務局からの説明では「市民が組織して活動している団体」ということでしたが、こちらについて調べましたところ、地方自治制度上では「任意団体」として定義されています。</p>
委員	<p>川西市として、「任意団体」の表記で、この文章で伝えたいことがイメージできるものであれば、いいと思います。</p>
会長	<p>他にここの言い回しについて、ご提案はありますか。</p>
委員	<p>3について、現在の文章では非常に理解しにくいと感じます。また、読む人の都合のいいように解釈されることが怖いというところもあります。ですので、極力、多義的に捉えられにくい内容にするのが望ましいと思います。</p> <p>一番言いたいことは、望ましい協働を市とその団体の間で行うことであり、その際には、分担する範囲をしっかりと押さえておく必要がある。そして、団体の自主性や自立性を尊重しながら、市としてどの範囲まで支援をするのかと</p>

いうことを整理するということが大事なので、そのような見直しを行いましょう、ということかと個人的には受け取りました。

これを踏まえて、「市は、団体との適切な関係を踏まえた協働を行い、事業を推進していく必要がある。その際に団体事務局事務の分担すべき役割について、団体の自主性や自立性を尊重しつつ、市の支援の範囲を整理した上で抜本的に見直すこと。」という文章ではいかがでしょうか。

会長 ありがとうございます。委員から3についてこのような提案がありましたがいかがでしょうか。

この「必要がある」というところは、推進することでどうでしょうか。

委員 表現は整合性を取った方がいいと思います。

読む人によって違った意味で捉えられないようにするためには、一文一文を簡潔にする必要があるかと思い、修正してみました。

会長 どうでしょうか。委員提案の文章に変更することに異議はないでしょうか。

委員 （異議なし）

会長 ありがとうございます。

そうしましたら、このご提案の文章をベースにし、「団体の」の部分の表現が確定はしていませんが、これについては、意味や表現を会長である私と事務局でまず確認して、皆さまにもご確認いただきたいと思います。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

はい、ありがとうございます。

< 1～3の文章について、議論の結果、会議中に以下の内容に修正 >

- 1．各事業の取組みの課題設定とターゲットを明確にし、事業目的に対してどれだけ効果があがっているか、現状分析、適切な成果指標の設定を行い、常に検証を行うこと。それができるマーケティング力を職員が身につけること。
- 2．限られた財源の中で効果的な事業を行うために、市の適切な関与のあり方も含め、時代に即した外郭団体等の役割を再整理すること。外郭団体等が自主的かつ自立的な経営の促進を図り、収益構造の抜本的な見直しを行うこと。
- 3．団体との適切な関係を踏まえた協働を行い、事業を推進すること。その

	<p>際に団体事務局事務の分担すべき役割について、団体の自主性や自立性を尊重しつつ、市の支援の範囲を整理した上で抜本的に見直すこと。</p>
会長	<p>それでは続きまして、「その他」について、事務局より何か連絡事項等がありましたら、お願いします。</p>
事務局	<p>本日は、その他について、特にございません</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次回は答申となります。流れとしては、事務局で本日の議論を踏まえて答申（案）の修正を行い、委員の皆さまへ送付します。</p> <p>内容をご確認いただき、ご意見がある場合は、事務局へ連絡してください。皆様からの意見を事務局で集約、修正したものを委員の皆さまへ送付します。</p> <p>次回の審議会では、その答申（案）について、ご議論いただいた上で、市長に答申するということとなります。よろしくお願いします。</p> <p>本日の議事は以上でございます。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>それでは事務局にマイクをお返しいたします。</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。</p> <p>会長からご説明のありました答申（案）の確認につきまして、後日事務局からスケジュール等をご連絡させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>次回の日程につきましては、第3回を10月6日(水)18時00分に開催させていただき予定としております。開催方法につきましては、Web会議での開催とさせていただきます。皆様ご多忙かと存じますが、何卒、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。Web会議から退室していただきますようお願いいたします。本日は誠にありがとうございます。</p>